

# 第 17 期 營業報告書

自 平成 21 年 1 月 1 日

至 平成 21 年 12 月 31 日

江刺開発振興株式会社

# I 営業の概要

## 1 各施設の営業の概況

### (1) えさし藤原の郷

1月～12月までの入場者数及び入場料収入

(単位:千円・人)

項目名	個人		団体		共通券		無料 入場者数	合計		
	入場者	入場料	入場者	入場料	入場者	入場料		入場者	入場料	客単価
平成20年	52,169	35,132	21,625	10,398	5,472	3,050	11,930	91,196	48,582	613円
平成21年	57,736	38,716	29,898	13,178	6,334	3,428	9,527	103,495	55,323	589円
前年対比	110.7%	110.2%	138.3%	126.7%	115.8%	112.4%	79.9%	113.5%	113.9%	96.1%

### (2) 営業部門

1月～12月までの売上

項目名	売店	レストラン	団体食	合計	利用総数	客単価	売店粗利	食堂粗利
平成20年	85,336	41,747	54,165	181,250	126,275	1,477円	25,971	61,603
平成21年	93,115	45,297	54,307	192,719	129,837	1,529円	28,613	63,270
前年対比	109.1%	108.5%	100.3%	106.3%	102.8%	100.4%	110.2%	102.7%

### (3) えさしクリーンパーク

1月～12月までの利用者及び売上

項目名	利用者数(人)				売上			
	一般	シルバー	小中学生	合計	入場料	食堂	物販	合計
平成20年	19,340	15,046	14,194	48,580	14,392	3,885	4,840	23,118
平成21年	10,103	9,986	10,015	30,104	8,569	2,244	2,093	12,907
前年対比	52.2%	66.4%	70.6%	62.0%	59.5%	57.8%	43.3%	55.8%

### (4) 奥州市越路スキー場

1月～3月・12月までの利用者及び使用料

項目名	利用者数(人)		使用料		
	入込者数	ペアリフト	リフト使用料	貸スキー	合計
平成20年	11,590	52,148	7,728	1,754	9,482
平成21年	12,812	49,194	7,321	1,781	9,103
前年対比	110.5%	94.3%	94.7%	101.6%	96.0%

## (5) 種山高原星座の森

5月～11月までの利用者及び売上

(単位:千円・人)

項目名	コテージ			カーサイト			キャンプ場			浴室		合計	
	棟数	利用者	売上	区画	利用者	売上	区画	利用者	売上	利用者	売上	利用者	売上
平成20年	431	2,194	5,525	190	885	515	275	951	0	3,061	583	7,091	6,624
平成21年	466	2,324	5,979	213	789	581	462	1,361	165	3,526	671	8,000	7,398
前年対比	108.1%	105.9%	108.2%	112.1%	89.2%	112.7%	168.0%	143.1%	皆増	115.2%	115.2%	112.8%	111.7%

5月～11月までの売上

項目名	レストラン	売店	自販機	雑収入	合計
平成20年	1,561	654	225	254	2,696
平成21年	1,660	594	177	280	2,712
前年対比	106.4%	90.8%	78.4%	109.8%	100.6%

## (6) えさし郷土文化館

1月～12月までの入場者数及び入場料収入

項目名	個人		団体		共通券		無料 入場者数	合計	
	入場者	入場料	入場者	入場料	入場者	入場料		入場者	入場料
平成20年	2,400	639	2,788	500	5,472	1,180	5,460	16,120	2,320
平成21年	2,593	546	2,318	352	6,356	1,325	4,495	15,762	2,225
前年対比	108.0%	85.4%	83.1%	70.3%	116.2%	112.3%	82.3%	97.8%	95.9%

1月～12月までの売上

項目名	体験		売店	合計	
	利用者	売上	売上	利用者	売上
平成20年	3,741	2,406	495	3,741	2,901
平成21年	3,636	2,204	412	3,636	2,617
前年対比	97.2%	91.6%	83.3%	97.2%	90.2%

## II 会社の概況

### 1 主な事業内容

- (1) 歴史公園えさし藤原の郷の行為許可、利用許可、維持管理の指定管理受託事業（契約相手先 奥州市）
- (2) 江刺自然活用総合管理施設（お休み処えさし藤原の郷）の使用許可、維持管理の指定管理受託事業（契約相手先 奥州市）
- (3) お休み処えさし藤原の郷における売店の経営  
同上におけるレストラン等の経営  
藤原の郷産直センター出展者会の指導育成
- (4) えさしクリーンパークの管理受託事業（契約相手先 奥州市）
- (5) 奥州市越路スキー場の使用許可、維持管理の指定管理受託事業（契約相手先 奥州市）
- (6) 奥州市種山高原交流施設の使用許可、維持管理の指定管理受託事業（契約相手先 奥州市）
- (7) えさし郷土文化館の使用許可、維持管理の指定管理受託事業（契約相手先 奥州市）

### 2 株式の状況

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| (1) 会社が発行する株式の総数 | 8, 000株   |
| (2) 発行済株式の総数     | 3, 700株   |
| (3) 株主の数         | 11名       |
| (4) 資本の額         | 18, 500万円 |
| (5) 額面株式1株の金額    | 金5万円      |
| (6) 株主           |           |

株 主 名	株式数（株）	持株比率（％）
奥州市	2, 100	56. 8
花巻温泉株式会社	300	8. 1
みちのくコカ・コーラボトリング株式会社	300	8. 1
株式会社NHKエンタープライズ	200	5. 4
岩手県交通株式会社	200	5. 4
岩手江刺農業協同組合	200	5. 4
株式会社岩手銀行	160	4. 4
奥州商工会議所	100	2. 7
株式会社NHKプラネット	60	1. 6
株式会社JTB東北	60	1. 6
岩手県観光協会	20	0. 5
合 計	3, 700	100. 0

### 3 従業員の状況

	総務部	企画業務部	営業部		事業部	合計
			売店	レストラン		
正社員（出向含む）	2	9	3	6	4	24
嘱託		1		1	6	8
臨時・パート		8	7	11	13	39
計	2	18	10	18	23	71

【出向社員の内訳】花巻温泉(株) 1名、(株)JTB東北1名=計2名

### 4 取締役及び監査役

役職名	氏名	担当又は主な職業
代表取締役社長	相原 正明	奥州市長
代表取締役専務	今井 洋一	花巻温泉株式会社 代表取締役社長
常務取締役	佐藤 郁夫	統括 奥州市 退職派遣 12月31日辞任
取締役	谷村 邦久	みちのくコカ・コーラボトリング株式会社 代表取締役社長
取締役	海鋒 守	奥州商工会議所 副会頭
取締役	松橋 隆	株式会社NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー
取締役	山下 勉	岩手県交通株式会社 代表取締役社長
取締役	高橋 信	株式会社JTB東北 代表取締役社長 3月31日辞任
取締役	小林 滋男	株式会社JTB東北 代表取締役社長 6月29日就任
監査役	黄海富寿雄	株式会社NHKプラネット 専門委員 3月26日辞任
監査役	伊深 久男	株式会社NHKプラネット 東北支社長 3月26日就任
監査役	伊藤 正次	奥州市 収入役

### Ⅲ 庶務事項

#### 1 株主総会

- (1) 平成21年3月26日(木曜日)奥州市江刺区岩谷堂字小名丸80番地、お休み処えさし藤原の郷において第16回定時株主総会を開催し、次の事項を決議いたしました。

##### 決議事項

- 第1号議案 第16期計算書類承認の件  
原案どおり承認可決
- 第2号議案 第16期剰余金の処分の件  
原案どおり承認可決
- 第3号議案 任期満了に伴う監査役選任の件  
原案どおり承認可決

- (2) 平成21年6月29日(月曜日)奥州市江刺区岩谷堂字小名丸80番地、お休み処えさし藤原の郷において臨時株主総会を開催し、次の事項を決議いたしました。

##### 決議事項

- 議案 取締役1名選任(補欠選任)の件  
小林 滋男氏 就任

- (3) 平成21年12月7日(月曜日)花巻市湯本1-125、花巻温泉ホテル千秋閣において臨時株主総会を開催し、次の事項を決議いたしました。

##### 決議事項

- 議案 取締役1名選任(補欠選任)の件  
飯森 功氏 就任(平成22年1月1日付)

#### 2 取締役会

次のとおり、お休み処えさし藤原の郷において取締役会を開催し、その円滑な業務の執行を図りました。

- (1) 平成21年2月5日(第1回)  
第16期の営業の概要報告  
第16期計算書類承認の件  
第16回定時株主総会招集の件
- (2) 平成21年3月26日(第2回)  
取締役の月額報酬額決定の件

- (3) 平成21年6月29日（第3回）  
業務の執行の状況報告  
株式の承継の報告  
臨時株主総会招集の件
- (4) 平成21年6月29日（第4回）  
新取締役の役員報酬額決定の件
- (5) 平成21年9月29日（第5回）  
業務の執行の状況報告  
奥州市口ケ誘致支援施設「えさし観光交流館」の受託について
- (6) 平成21年12月7日（第6回）  
業務の執行状況及び第17期決算見込みの報告  
就業規則、出張旅費規程の一部改正及び廃止について  
第18期事業計画及び予算決定の件  
臨時株主総会招集の件
- (7) 平成21年12月7日（第7回）  
常務取締役選任の件  
新取締役の役員報酬額決定の件

### 3 監査役会

次のとおり、監査役会を開催しました。

- (1) 平成21年2月5日（第1回）  
監査の日程決定の件
- (2) 平成21年3月26日（第2回）  
監査役の月額報酬額決定の件

### 4 監査

- (1) 平成21年2月26日  
第16期 会計・業務監査

## IV 業務報告

### ◎企画業務部

#### 1. 広告宣伝

平成 23 年夏平泉世界遺産登録に向け、連動させた理念展開を根底に、ロケ地としての PR を行ない、イベント毎の告知を有効的に行い、お客様のニーズにお応えする情報の発信に努めてきました。

##### (1) えさし藤原の郷 CI の展開

- ①マスメディアを通じての認知
- ②インターネットを通じての認知
- ③各交通機関を通じての認知
- ④各旅行会社を通じての認知
- ⑤観光関連施設を通じての認知

##### (2) 広告媒体を通じての PR

- ①テレビ・ラジオ CM の活用
- ②新聞広告の活用
- ③旅行雑誌・タウン誌・広報誌・かわら版の活用
- ④パブリシティーの活用
- ⑤インターネット、モバイルの活用
- ⑥交通広告の活用
- ⑦DM の活用
- ⑧ホームページ特典（入場料金割引の導入）

##### (3) 関係機関・団体と連携した各種広告・キャンペーン等を実施

平泉世界遺産登録を見据え県や市との連携を計画し、奥州藤原ロマン号も約 600 名近い参加を頂きました。小規模ではありましたが応援という形で近隣施設との連携した宣伝を行うことができました。

#### 2. 誘客セールス

##### (1) 計画的・効果的セールスの実施

###### ①北海道と東北 6 県、新潟県、茨城県、栃木県のセールス強化

平成 21 年の目標有料入場者数 110,000 人の内、団体入場者数 35,000 人を目標とし、チーム毎にエリアを分担し、団体実績表・予約状況表をもとに年間セールス計画を作成し、効果的なセールスを実施してまいりました。

しかしながら、旅行 AGT、バス会社主催の募集型旅行も集客不足が目立ち、個人型旅行にシフト転換致した。(ETC1,000 円効果も含め)

団体入場者数は 29,898 人(目標対比 85.4%)20 年対比 136.8%・19 年対比 83.8%

###### ②企画業務部、営業部及び郷土文化館との共同セールス展開

入場と食事、郷土文化館との共通入場券を企画商品に活かし、地元・近隣小中高の



校外学習誘客に努めました。

- ③黄金王国キャラバン等を活用してのエージェント商品造成部門への販売促進に努めました。
- ④北海道、宮城、首都圏、関西で開催された岩手県観光客誘致説明会等エージェント説明会へ参加し誘客に努めました。
- ⑤各アンテナショップ（関東、関西、九州地区）及び各エージェントへ出向き、情報発信に努めました。
- ⑥県主催の修学旅行誘致説明会に参加し、北海道、宮城、東京、大阪地区の学生団体の誘客に努めました。
- ⑦ホームページにツアー情報として各種企画商品の宣伝に努めた。（駅からハイキング・二次交通奥州藤原ロマン号）

### 3. イベントの開催

平安時代を基調とする施設の基本コンセプトを大切にしながら「動き」や「賑わい」をもったイベントの企画実施、地域住民参加型イベントの充実、ロケ地としての展示・イベントを開催いたしました。

#### (1) 定期イベント

- ①江刺伝統郷土芸能「江刺鹿踊」の定期公演を4月から11月まで毎週日曜日に開催しました。また、新たに「神楽」の定期公演を、4月から10月までの第4土曜日計8回実施しました。
- ②ボランティアガイド「炎がいどくらぶ」による江刺の歴史、奥州藤原氏の歴史を解説する「えさしの語りべ」を4月から11月までの毎週土曜日、日曜日、祝祭日に開催しました。
- ③牛車の運行  
観光客による牛車乗車体験型の記念撮影、修学旅行生の利用や十二単、七五三バックの着付体験と併せて記念撮影を行う等、更なる魅力を展開し4月から11月までの祝祭日と第1・3土曜日に開催しました。

#### (2) 集客力のあるイベントの開催

##### ①平安 春・夏・秋祭

- ア.『平安春祭』には、キャラクターショー「侍戦隊シンケンジャー」やお笑い芸人のエド・はるみさんを招いてのトークショー、江刺鹿踊特別公演を行い集客に繋がりました。
- イ.『平安夏祭』では対象を学生や児童とし「怨霊の館」、「砂金採り体験」、「平安の涼み体験」を通して平安の夏を味わえるイベントを実施しました。  
初の試みであった「怪談 LIVE」は時間、場所等の課題が残されました。  
また、国内唯一の百鹿大群舞は百鹿の迫力を演出しました。
- ウ.『平安秋祭』では行楽シーズンに合わせて、秋ならではの江刺の特産である「江刺りんご」の皮むき大会を実施、また「菊花展」による310鉢は見事な出展数で四季の演出を行い、誘客に努めました。

②行楽シーズンに合わせて次のイベントを開催しました。

- ・お正月イベント
- ・和紙ちぎり絵展
- ・さつき展
- ・萩まつり
- ・菊花展

③有料制イベントの実施

付加価値と収益向上を目的として次のイベントを開催しました。

- ・平安の落武者「怨霊の館」設置
- ・砂金採り体験
- ・お茶会
- ・平安の雅 正式十二単・束帯着付体験
- ・ハマグリ絵付体験
- ・拳式等による施設の利用促進

④市内園児による施設利用イベントの開催

- ・『平安秋祭』に玉里保育所による「よさこい踊り」、田原保育所による「ちびっこ剣舞」の公演を行いました。

#### 4. 「LOCATION BASE えさし藤原の郷」完成

平成 21 年 9 月 21 日、役者はじめエキストラの方々の着替え場所として新施設「LOCATION BASE えさし藤原の郷」の完成に伴い式典を開催しました。もちまき・お笑い LIVE「ザ・ニュースペーパー」を招き誘客に努めました。

#### 5. 各種ロケ

市のロケ対策室と連携しNHK大河ドラマ「龍馬伝」の告知に努めましたが、関係者側の規制が大変厳しく誘客するまでの宣伝効果ができませんでした。

ロケ内容は次のとおりです。

##### (1) テレビ関係

- ・テレビ東京 「完成ドリームハウス～現代風寝殿造りの家～」
- ・テレビ朝日 「クイズ/雑学王」
- ・テレビ東京系全国ネット「ドライブAGOGO」
- ・NHK 2010年大河ドラマ「龍馬伝」
- ・(社)江刺青年会議所「創立40周年記念式典メンバー紹介映像」撮影
- ・朝日放送 「にっぽん采発見」
- ・奥州市広聴広報係 ふるさとCM大賞～奥州編
- ・(株)ハゴロモ DVD用映像
- ・めんこいテレビ 年末スペシャル特番「県内横断クイズツアーーいわて元気TV」

## ◎営業部

### 1. 売店部門

#### (1) 商品販売強化

個人型の客層が増えている状況を踏まえ、自分のお土産になる商品や藤原の郷ならではの商品(大河ドラマグッズ)の品揃えを強化し、コーナー展開を図り、売上に大きく貢献しました。

あわせて、団体食メニューをレストランメニューにも連動させ商品販売強化も行いました。

#### (2) 販売員のスキルアップと販売技術の向上

県が主催する「おもてなしマイスター」の公認取得にむけ、研修会等への積極的な参加により、営業部スタッフより認定取得者を輩出することができました。

また、車中販売(外販)にも積極的に取り組むなど、目に見えない分野における営業政策を展開いたしました。

### 2. レストラン部門

#### (1) レストランメニューと喫茶メニューの開発

食器の購入により、レストランメニューのイメージアップに着手し、サイドメニューにこだわりを持って、売上増を図りました。

E T C効果による個人客の増加を見込み、低単価ではなく売価を維持しながら、ボリュームを重視したお得感のあるランチメニューの開発により、シーズン中には客単価を900円台に押し上げました。

#### (2) 友の会会員とハートアイ会員への還元プランの企画

宴会プラン、バイキング、各種折、季節プラン等について積極的な告知を行い、会員の利用者が多くなりました。

#### (3) レストランの多目的利用の推進

レストランでのバイキング企画の実施には、いろいろな面で問題があり、進められませんでしたでしたが、畳敷きの会場の有効活用やビアガーデンとしてのレストラン利用はかなり浸透してきており、多くのお客様に型をかえたレストランを利用いただきました。

さらに、体の不自由な方に優先的にレストランの「雅の間」を利用して頂いた結果、介護施設・デイサービス等の利用頻度も上向きでありました。

### 3. 団体部門・2階ホール等の利用

#### (1) 新メニューの開発

大口の謝恩企画における低単価のセットメニューにつきましては、双方で柔軟に話し合いを重ね、ツアー中の食事が一番良かったとのお話をいただくなど、実績に繋がった。

#### (2) 2階ホールの利用促進

2階ホールの有効利用については、講演会・展示会等の予約が例年並みにありました。今後は閑散期にいかに関転するかが課題となります。

(3) 年間を通した宴会プランの立案

年間計画におけるビアガーデンの開催について、一昨年はレストランで2回と2階ホールで1回行ってきたが、今期はレストランが1回と2階ホールで2回行われました。券の販売についても、会社一体となって販売できた成果の表れと思っています。

4. その他

(1) 県内の老人福祉施設と介護施設への「和み企画・きざみ食プラン」のセールス

エリア(紫波・花巻・北上・一関等)拡大を目指したが、繁忙期と重なりセールスが行き届かないエリアもあり、今後の課題となります。

(2) 映像館の有効利用

会議場、講演会、展示会場として利用促進に努める。

(3) 法事食のPR

確実に件数は増えており、銀屏風や食器等の充実をはかり、引き出物の斡旋などへの売り込みの強化もできました。

(4) 地域イベントの情報収集

地域イベントやスポーツ大会などの情報を収集し、弁当、外販、宴会等の獲得に努めた結果、中総体の県大会レベルのお弁当や大学センター試験の外注弁当などの獲得ができました。

◎えさしグリーンパーク

焼却廃棄物の不足による熱源の減少やボイラーの故障等で大幅な営業日数の減少となり、利用者に多大な迷惑をかけたこと、また入場料収入等についても大幅な減収となりました。

なお、故障したボイラー等の更新工事を実施し平常営業に戻ったことから、今後の売り上げの回復に期待しているところです。

1. 地元対策の強化

地元の各種団体(自治会、老人クラブ等)及びゲートボール協会、テニス協会へのセールスを強化し利用促進に努めました。

2. 小中学生対策

地元の子供会、水泳クラブにセールスを強化し、利用促進に努めました。

3. 健康水泳教室の開催

グリーンパーク健康水泳教室を開催し、体力づくりを含め入場者増に努めました。

4. ボイラー工事、日本間の豊表替え等を行い、設備の更新を図りました。

◎種山高原星座の森

5月・6月は前年より利用者は多く感じたが、7月前半に近隣施設で水による感染の問題が出てから、7月・8月は客足が遠のきました。奥州FMでのPRを強化した結果、地元の利用者が多くなり秋口にかけて盛り返しました。

## 1. 地元対策の強化

早めに奥州FMと相談し、地元PRを強化しました。

## 2. 奥州市越路スキー場との連携

- (1) スキー場利用者に向けた星座の森PRを行いました。
- (2) スキー場関係の会合にも力を入れました。

## ◎奥州市越路スキー場

オープン当初は積雪が少なかったが、年末にはペアリフトの運行が出来るほどの積雪となり、かきいれ時である年末年始は帰省客や家族連れで利用客増となりました。

又、県南部のスキー場が休止したところが有った為いち早く一関方面にセールスをして利用増に務めました。

### 1. スキー協会との連携

- (1) 江刺スキー協会と連携をし、スキー・スノーボード教室を開催して利用客増に努めました。
  - (2) スキー場を持たない地区のスキー協会と緊密にして、協会行事や地区行事を開催して頂き利用客増に努めました。
- ### 2. 来場されるお客様へサービスとふれあいの場を提供する為、「越路スキー場感謝祭」を開催し、利用客増に努めました。

## ◎えさし郷土文化館

入館者が15,762名で対前年比97.8%とわずかながら落ち込む結果となり、特に1月～3月については、昨年度の大型団体の入館者がそのままマイナスとなりました。団体の動きから家族や少数のグループへと変わった傾向が目立ちました。

### 1. 各種企画展の開催

「ふるさと再発見・梁川編」「江刺・胆沢両郡の藤原時代の遺産」「鋼の美～江刺地方の刀剣～」等、独自の企画展を開催しました。さらに、新たな事業として、館長の「ツキイチ講座」を開催。5月から全8回353名の聴講者をお迎えすることができました。

### 2. 郷土先人顕彰事業

奥州市から受託し2年目の事業として、展示物（内桂、水干、浮世絵等）の入れ替え、さらに、館長の「ギャラリートーク」を定期的で開催するなど集客を図り、大変好評を得ました。期間中の入館者は23,211名でした。

### 3. 世界遺産関連事業

2年目の事業として、中尊寺の協力を受けながら「金字写経体験」を実施しました。募集が即定員（20名）に達するなど反響が大きく好評でありましたが、定員について課題を残しました。

### 4. 体験学習

体験メニューを増やすなど様々な工夫をしたにも関わらず、前年比92.7%となり、特に区内小中が3分の1にとどまるなど落ち込みが著しい結果となりました。特に新型インフルエンザの影響で校外学習、遠足等が控えられる傾向がみられました。反面、通常の体験

ではなく、農具や米作りの学習に訪れる市内小学校が増えたことは今後に繋がることと思われま

平成 21 年・第 17 期

# 貸借対照表

平成 21 年 12 月 31 日現在

江刺開発振興株式会社

平成21年12月31日現在

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産(	267,525,560)	I 流動負債(	68,747,374)
現金・預金	230,291,386	買掛金	7,392,441
売掛金	4,437,314	未払費用	52,902,611
たな卸資産	5,159,367	未払法人税等	4,479,600
前払費用	634,977	未払消費税	2,805,200
未収入金	26,830,043	預り金	403,251
立仮替払金	97,029	仮受金	764,271
	75,444		
II 固定資産(		II 固定負債(	
有形固定資産(	27,339,229)	長期未払金	2,987,250)
建物	24,918,530)		2,987,250
機械・装置	17,871,043		
車両・運搬具	169,609		
工具・器具・備品	1,516,365		
建物付属設備	1,704,301		
リース資産	394,434		
少額資産	2,845,000		
	417,778		
		負債の部合計(	71,734,624)
無形固定資産(	2,315,699)		
商標権	1,296,499		
電話加入権	1,019,200		
		純資産の部	
投資その他の資産(	105,000)	I 株主資本(	223,130,165)
出資金	4,500	1. 資本金	185,000,000
差入保証金	30,000	2. 資本剰余金(	0)
長期前払費用	70,500		
		3. 利益剰余金(	38,130,165)
		(1) 利益準備金	1,288,000
		(2) その他利益剰余金(	36,842,165)
		別途積立金	17,000,000
		繰越利益剰余金	19,842,165
		II 評価・換算差額等(	0)
III 繰延資産(	0)	III 新株予約権(	0)
		純資産の部合計	223,130,165
資産の部合計	294,864,789	負債・純資産の部合計	294,864,789



平成 21 年・第 17 期

# 損益計算書

自 平成 21 年 1 月 1 日

至 平成 21 年 12 月 31 日

江刺開発振興株式会社

I 売上高			
レストラン売上高	103,539,337		
売店売上高	98,632,958		
入場料収入	82,619,304		
管理収入	240,482,997	525,274,596	525,274,596
II 売上原価			
期首たな卸高		2,878,781	
商品仕入高	67,610,857	67,610,857	
当期製品製造原価		110,347,045	
合計		180,836,683	
期末たな卸高		2,739,087	178,097,596
売上総利益			347,177,000
III 販売費及び一般管理費			
販売費・一般管理費		343,575,058	343,575,058
営業利益			3,601,942
IV 営業外収益			
受取利息割引料		512,400	
雑収入		11,609,625	12,122,025
V 営業外費用			
営業外費用		0	0
経常利益			15,723,967
VI 特別利益			
特別利益		0	0
VII 特別損失			
特別損失		0	0
税引前当期純利益			15,723,967
法人税、住民税及び事業税		8,540,365	8,540,365
当期純利益			7,183,602

平成21年 1月 1日から  
平成21年 12月 31日まで

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却方法
  - (1)有形固定資産  
定率法を採用しております。  
ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については定額法を採用しております。なお、取得価額10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。
  - (2)無形固定資産  
法人税法の規定に基づく定額法を採用しております。
3. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

## II. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 126,785,400円

## III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 3,700株
2. 事業年度末日後の剰余金配当  
当事業年度の末日後に行う剰余金配当の総額は2312500円、配当の原資は、19842165、1株当たり配当額は625円です。これらの配当の基準日は平成21年12月31日、決議日は平成22年3月26日、効力発生日は平成22年3月27日です。

## IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、60,305.45円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、1,941.51円であります。

以上

## 第17期剰余金の処分

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

繰越利益剰余金	<u>19,842,165円</u>
配当金 (1株につき625円)	2,312,500円
利益準備金	240,000円
別途積立金	7,000,000円
----- 当期変動額の合計	<u>9,552,500円</u>
処分後の残高	<u>10,289,665円</u>

# 監 査 報 告 書

私たち監査役は、平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日までの第 17 期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び社員等と意思疎通を図り、情報収集に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び社員等からその職務及び業務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について監査いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 業務報告等の監査結果

ア 業務報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

平成 22 年 2 月 24 日

江刺開発振興株式会社

監 査 役

伊藤 正次



監 査 役

伊藤 久男

